

重点取組名	水田営農における担い手組織の育成						
普及活動担当	伊藤晴寛、岡本俊彦、吉田昌美（鳥取県中部総合事務所農林局倉吉農業改良普及所）						
主要な活動地域・対象農業者	集落営農重点推進地域 農業生産法人5法人、農業生産法人志向組合6組合等						
取組結果・成果 〈取組みのねらい〉	<p>〈取組みのねらい〉 農業生産法人・法人志向組合を重点対象とし、①組織化支援②省力安定技術の支援 ③組織運営支援により、モデル組織を育成</p> <p>〈取組結果・成果〉 ・法人志向組合6組合のうち、3組合は農事組合法人となり、さらに認定農業者、特定農業法人に認定された。</p> <table border="1" data-bbox="432 743 1404 1037"> <tr> <td data-bbox="432 743 730 840">農事組合法人鋤</td> <td data-bbox="730 743 1404 840">1集落1農場、構成員：19人、経営面積：8.6ha 主要作物：水稲、大豆</td> </tr> <tr> <td data-bbox="432 840 730 936">農事組合法人あなだ</td> <td data-bbox="730 840 1404 936">1集落1農場、構成員：21人、経営面積：9.5ha 主要作物：水稲、大豆</td> </tr> <tr> <td data-bbox="432 936 730 1037">農事組合法人いきいきアグリ谷</td> <td data-bbox="730 936 1404 1037">1集落1農場、構成員：25人、経営面積：9.6ha 主要作物：水稲、大豆</td> </tr> </table> <p>・他の2組合についても、法人化計画をたて、具体的な取組を行っている。 ・重点対象以外にも組織化支援を行い、新たに2組合を重点対象として、法人化を目指す。 ・重点対象5法人のうち集落法人2法人については、集落法人安定プランを作成し、省力機械施設を整備し（単県補助事業）、安定経営に向かっている。</p>	農事組合法人鋤	1集落1農場、構成員：19人、経営面積：8.6ha 主要作物：水稲、大豆	農事組合法人あなだ	1集落1農場、構成員：21人、経営面積：9.5ha 主要作物：水稲、大豆	農事組合法人いきいきアグリ谷	1集落1農場、構成員：25人、経営面積：9.6ha 主要作物：水稲、大豆
農事組合法人鋤	1集落1農場、構成員：19人、経営面積：8.6ha 主要作物：水稲、大豆						
農事組合法人あなだ	1集落1農場、構成員：21人、経営面積：9.5ha 主要作物：水稲、大豆						
農事組合法人いきいきアグリ谷	1集落1農場、構成員：25人、経営面積：9.6ha 主要作物：水稲、大豆						
連携機関、協議会等	各市町担い手育成総合支援協議会 特に、3法人の設立については、倉吉市の担当者と密接に連携して支援した。						
取組の特徴や取組に際しての工夫	<p>・普及計画に位置付け計画的取組を行ったが、特に3法人設立については次のとおり。</p> <p>①組合役員に対する法人化の啓発 ・法人化の一般知識の修得と併せ、何のための法人化か理解に努めた。 （役員研修会、先進地視察）</p> <p>②法人化プロジェクトチームの設置（組合別に設置） ・メンバー：組合代表、鳥取県農業会議、倉吉市、鳥取中央農協、普及所 ・チーム会議で法人化の枠組みを検討。 ・税務問題等は税理士をチーム会議に招き検討。</p> <p>③法人設立目標時期の設定と濃密的・集中的な論議 ・設立目標時期に向かって、気を抜ことなく、気が抜けないように舵取。 ・チーム会議終了時には、問題点の整理と次回の課題設定、準備資料の役割分担を行い、集中的に検討（2回程度/月）。</p> <p>④集落説明会の工夫 ・集落説明会資料は、役員会で項目を整理し、分かりやすい資料を作成した。 ・集落説明会では何のための法人化か論点を明確にし、分かりやすい言葉で理解に努めた。 ・組合員の意見をよく聴き、納得できるまで話し合いした。</p>						
【参考】							